

令和6年度

社会福祉法人安堵町社会福祉協議会事業報告書

社会福祉法人

安堵町社会福祉協議会

令和6年度事業報告 概要

「誰もが主体的に参加、役割を持ちながら支え合う地域づくり」と、「住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を目指して、当会が担うべき地域福祉の推進において、令和6年度は、地域包括支援センター運営・介護予防事業・地域での支え合い活動の推進、生活困窮者支援、生活支援体制整備等を重点的に事業展開してきました。これにより、複雑化、深刻化する地域での福祉課題や生活課題の解決に向けて、各種関係機関、団体、行政と連携し、地域包括ケアシステムの深化において当会の役割を果たすため、より地域に密着した拠点となるよう努めました。

地域で安心して暮らしていくためには、様々な社会保障制度だけではなく、地域での支え合いやつながりづくりが重要です。制度では解決できない暮らしの中の困りごとや課題の解決に向け、「ワンコイン支え愛サポーター」や「よりそい隊」などのボランティアによる生活のちょっとした困りごとの支援を行ってきました。一方で、地域の助け合いのしくみづくりや地域サロン活動については、地域の方々が集う地域の居場所づくりの活動に対する支援を行いました。

また、5人に1人が認知症の時代と言われている中で、「認知症になっても地域で安心して暮らせるまちづくり」として、多くの住民に対して認知症の正しい理解を深めるためにサポーター養成講座を開催しました。

赤い羽根共同募金・日本赤十字社資募金活動等については、地域住民の皆様による活動へのご理解のもと、目標達成額に近づけることができました。

事業実施状況

【法人運営事業】

1. 社協総務運営(庶務、経理、理事会、評議員会等の運営)

理事会

第1回	令和6年5月29日(水)
第2回	令和7年3月19日(水)

評議員会

第1回	令和6年6月14日(金)
第2回	令和7年3月28日(金)

監事の監査

第1回	令和6年5月22(水)
-----	-------------

評議員選任・解任委員会

第1回	令和6年5月29日(水)
-----	--------------

2. 広報・啓発活動

各地域での活動の紹介や、ボランティアの情報、社協の活動や情報の記載、安堵町共同募金会、安堵町赤十字奉仕団の活動報告、地域包括支援センターの活動の紹介等を掲載し、情報発信を行いました。

・広報誌「あんど社協だより」の発行

令和6年5月	99号
令和6年9月	100号
令和7年1月	101号

・ホームページ公開(<http://andoshakyo.com>)

3. 募金運動の推進

国内外の災害などに対する募金や日本赤十字社、共同募金会事業に対する募金活動の支援を行いました。

【地域福祉推進事業】

1. 地域サロン活動の推進

各大字において行われている様々な自主活動は、体操やレクリエーション、お出かけ等、地域での活動をされています。次年度では、「サロン交流会」や、「サロンの巡回」など行う予定です。

各サロン開催地域(休止や日時の変更あり)

サロン名	開催日	開催場所	参加人数
まほろばサロン(東安堵南)	第3木曜日	四弁花	15~20名
西安堵ふれあいサロン	休止中	西安堵公民館	
下窪田ふれあいサロン	休止中	下窪田自治会館	
岡崎あすなろ会	毎月20日頃	岡崎公民館	5~10名
笠目サロン	第3金曜日	笠目公民館	15~20名
かしの木台日の出サロン	第4金曜日	かしの木台集会所	15~18名
小泉苑いずみの会	第3木曜日	小泉苑公民館	20~25名

柿の里いきいきサロン	第2金曜日	柿の里団地集会所	10～12名
柿の里ダンディ	休止中	柿の里団地集会所	10名程度
若草の里サロン	月1回土曜日	若草の里集会所	10名程度
窪田(上・東・北)わかばサロン	年1回	上窪田公民館	30名以上
ほっとあんどサロン	休止中	福祉保健センター	5名以上
新法隆寺・興人サロン・ナデシコ	偶数月第1月曜日	福祉保健センター	10～15名
あつみ台なでしこサロン	休止中	交流館なでしこ	20～25名

2. 生活困窮者への自立支援事業

緊急性を要する生活困窮者に対して、生活保護制度利用決定に至るまでの間に生活福祉資金の貸付へと繋がりました。その日、食べる物がないなどの場合は、食糧支援を行いました。また、もったいない食品を無くす活動として、フードバンク奈良より提供いただいた食材を、生活にお困りの方や、地域の活動などへの提供を行いました。令和4年度よりもったいない食品を無くす取組にイシメン株式会社も賛同いただき、食の支援を行いました。

また、令和6年度より、公益社団法人 日本非常食推進機構と締結し、賞味期限が近づいた災害備蓄食品等を受け取り、生活にお困りの方へ提供を行いました。

・生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金相談件数	20件
生活福祉資金貸付件数	3件

・食のたすけ合い支援

生活困窮者自立支援事業 (フードレスキュー支給)	0件
食のたすけあい支援件数 個人	312件
食のたすけあい支援件数 地域	3件

・緊急小口資金等特例貸付借受人フォローアップ支援事業

令和7年度より受託する新規事業について、令和6年度償還免除対象者の生活状況把握のため調査書を作成し、対象の方に送付いたしました。

対象者	33名	返信あり	6件	返信なし	26件	宛所なし	1件
世帯数に変 化あり	3件	世帯数に変 化なし	3件				
居住地に変 化あり	0件	居住地に変 化なし	6件				

収入に変化あり	1件	収入に変化なし	5件		
生活保護受給中	1件	生活保護受給なし	5件		
免除申請の支援を希望する	5件	免除申請の支援は希望しない	1件		
食の支援を希望する	1件	食の支援を受けるか検討する	4件	食の支援は希望しない	1件

3. 共同募金事業

10月より募金増強月間に全戸募金の協力を大字区長・自治会長、職域にお願いしました。また町内の各施設に募金箱を設置し、皆様のご協力により集まった下記の金額を共同募金会へ送金させていただきました。

今年度は、共同募金助成事業の社会福祉協議会助成(災害時ボランティア活動備品整備助成)を申請し、災害時に必要になるヘルメットやトランシーバー等を購入いたしました。

目標額	488,000 円
実績額	459,758 円

4. 福祉団体育成事業(関係機関及び各種団体との連携)

民生児童委員、安寿会連合会、赤十字奉仕団、町内ボランティア団体の活動推進、県やその他からの情報提供や助成金等の事務支援を行いました。

・民生児童委員協議会の年間活動の支援

年間事業内容	
定例委員会	12 回
施設見学、研修	6 回
生活福祉資金制度の支援協力	随時
独居高齢者調査の協力	随時
施設ボランティア実施の支援	11 回
民生児童委員の日活動強化週間支援	1 回
生駒郡連合会研修会への参加	3 回

・安寿会の年間活動の支援

年間事業内容	
支部長・本部役員会	5 回

町内美化運動	2回
菊花展(天候不順により中止)	0回

(福祉団体・ボランティア団体育成事務支援)

民生児童委員協議会・安寿会・安堵町赤十字奉仕団・更生保護女性会・ネットあんど協働たい・手話サークル葉の会・運動普及ボランティア・おはなし会ねこじゃらし・安堵こども食堂・よりそい隊・支え愛サポーター他

(ボランティア活動支援)

町内で活動されるボランティア活動について、保険加入の手続きや助成金の申請手続きなどの支援を行いました。

社協ボランティア保険加入件数	活動保険 10件
	行事保険 26件

5. 地域への貸与事業

① 車いす貸与(自走式6台・介助式3台)

一時的に歩行が困難で、介護保険での車いす貸出しサービスが利用出来ない方を対象に、無償貸与を行いました。

貸出件数	12件
------	-----

② 3人乗り自転車貸与(3台・お子様用ヘルメット4個)

子育て多子世帯の経済的な負担を軽減すること、及び外出機会の提供や社会参加による育児不安の解消を図ることを目的とし、3人乗り自転車の無償貸与を行いました。

貸出件数	1件
------	----

③ レクリエーション物品貸与(スカットボールや輪投げ、ラダーゲッター、ポップコーン機、わたがし機、プロジェクターキーボード等)

子ども会や地域活動等で活用していただけるよう、無償貸与を行いました。

貸出件数	21件
------	-----

④ ベビーベッド貸与(3台)

1歳未満のお子様を養育中の安堵町住民へベビーベッドの無償貸与を行いました。

貸出件数	3件
------	----

6. 災害ボランティア活動支援

生駒郡4町の社協職員を対象とした奈良県防災士会講師による研修会を開催し、実際に災害が起こったことを想定した災害ボランティアセンター設置についての模擬訓練を、生駒郡内4町社協合同で行いました。

生駒郡社協職員防災研修会	令和7年1月28日(火)
災害ボランティアセンター設置運営訓練実施日	令和7年2月22日(土)

7. 日常生活自立支援事業

金銭管理のできない高齢者や日常的に物忘れのある認知症、精神障害等のある方に対し、定期的に生活支援員が訪問して日常的な金銭管理を支援しました。必要に応じて福祉サービスの情報提供等も行いながら自立した生活を送っていただけるよう努めました。

延相談件数	3件
利用件数	2件

8. 日赤募金事業

① 日本赤十字社員増強運動

5月の社員増強月間に全戸募金の協力を、大字区長・自治会長へお願いしました。また、町内の各施設等に募金箱の設置をお願いしました。

目標額	881,000円
実績額	673,910円

「日本赤十字社法人募金活動サポート」

日本赤十字社奈良県支部と安堵町赤十字奉仕団による企業・法人募金活動を行いました。

募金総額	185,000円
実施日	令和6年10月1日

② 献血活動事業の支援

町内で年2回実施する献血事業に対し、安堵町赤十字奉仕団と協力して広報、啓発活動を行いました。

1回目実施日	令和6年8月30日
2回目実施日	令和7年2月21日

献血対象者

1回の献血量	200ml	400ml
年齢	男女とも:16~69歳	男性:17~69歳 女性:18~69歳
体重	男性:45kg以上 女性:40kg以上	男女とも:50kg以上

血圧	最高血圧:90mmHg以上 180mmHg未満 最低血圧:50mmHg以上 110mmHg未満	
目標人数 (1回目)	1名	21名
献血人数 (1回目)	3名	21名
目標人数 (2回目)	1名	23名
献血人数 (2回目)	3名	22名

※献血当日の詳細な問診回答や医師の判断により献血できない場合があります。

③ 地域赤十字奉仕団活動促進助成金交付事業

防災講習会(町内3カ所)	窪田 (R6年7月28日)	約30名
	笠目 (R6年11月17日)	約30名
	小泉苑 (R7年2月25日)	約30名

9. 小口資金貸付事業

低所得者や生活困窮者等に貸付を行うことより、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

相談件数	5件
貸付件数	5件
貸付総額	120,000円
償還金総額	75,000円
寄付金受入件数	8件
寄付金受入総額	68,107円

10. 福祉サービス苦情解決

福祉サービス分野に「苦情解決のしくみ」を導入し、苦情解決責任者1名、苦情受付担当者1名、第三者委員2名を配置し、ニーズの把握やサービスの質の向上に結びました。

苦情件数	0件
------	----

【受託事業】

1. 地域包括支援センター運営事業

地域包括支援センターは、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員の3職種がチームアプローチにより、住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として運営しています。高齢化が進み、独居、高齢世帯、認知症高齢者の増加が見

込まれる中、要介護状態とならないため住民とともに自助、互助を活かした介護予防の取組や、介護が必要になっても住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けることができる地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みとして、多機関、多職種連携による体制づくりや地域資源を活用した仕組みづくりを行いました。

・介護予防支援事業(介護予防サービス計画作成)

利用者(R7.3 実人数)	要支援者	73名
	事業対象者	28名
年間延利用者数	要支援者	770名
	事業対象者	330名
包括担当延べ件数	要支援者	56件
	事業対象者	26件
委託先延べ件数	要支援者	714件
	事業対象者	304件

・総合相談支援事業・権利擁護事業

相談内容・件数

介護に関すること	315件
権利擁護に関すること	131件
ケアマネジメント業務	217件
ケアマネジャー後方支援	80件
認知症に関すること	111件
障害に関すること	7件
入退院に関すること	128件
介護予防に関すること	106件
受診、身体的不調に関すること	231件
精神的不調に関すること	61件
生活支援に関すること	93件
その他	607件
総数	2,087件

・包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

安堵カンファレンス	11回
生駒郡内介護支援専門員合同研修	4回

・介護予防ケアマネジメント事業

いきいき百歳体操	15カ所
----------	------

地域サロンでの健康相談	2ヵ所
-------------	-----

・地域ケア会議開催

困難事例会議	4回
自立支援型地域ケア会議	17回
自立支援型地域ケア会議(新規利用者延件数)	38件

・在宅医療・介護連携推進事業

生駒郡地域ケア会議	2回
多職種勉強会	2回
市民公開講座(人生会議シリーズ①)	1回
生駒郡内在宅医療介護資源集作成会議	1回
入退院調整ルールづくり事業 状況調査	1回
入退院調整ルールづくり事業 担当者会議	2回
入退院調整ルールづくり事業 全体会議	1回
西和メディケアフォーラム合同会議	2回
西和メディケアフォーラム事例検討会	1回
西和地域包括支援センター連絡会ケアマネジメント部会	6回

・認知症総合支援事業

① 認知症サポーター養成講座

実施日	参加人数	対象
令和6年6月25日	6人	ボランティアきっかけ講座
令和6年7月5日	47人	安堵中学2年生
令和6年11月22日	36人	東安堵南地区住民

(R7.3月末現在 安堵町内 認知症サポーター数 899名)

② 認知症キャラバンメイト連絡会

令和6年度新規登録者 1名(栢田佑介氏)

R7.3月末現在 キャラバンメイト 16名

③ 認知症地域支援推進員

安堵町認知症地域支援推進員 7名

推進員会議 4回

開催日	参加者
令和6年5月17日(金)	5名
8月9日(金)	5名

11月22日(金)	5名
令和7年3月21日(金)	5名

④ 認知症講演会

令和7年3月17日(月) I部 チームオレンジ安堵活動報告
 講演 「自分をあきらめない『楽』な介護」
 講師 山崎眞季氏
 II部 『オレンジランプ』上映会

参加者 101名

令和6年度はチームオレンジ安堵発足5周年記念イベントとして認知症講演会を開催しました。I部II部に分けて、I部はチームオレンジ安堵の活動報告とチームオレンジ安堵メンバー山崎氏による講演を行いました。II部は『オレンジランプ』の映画上映会を行いました。

⑤ チームオレンジ安堵・オレンジかふえあんど

令和6年度のオレンジかふえあんどは、引き続き感染症対策には気を付けつつ、第2木曜日に定期開催することができました。認知症のある方も無い方も一緒に安心して過ごせる場所となっています。

・オレンジかふえあんど

開催日	内容	参加者数
4月11日(木)	お花見&野点	17名
5月9日(木)	かぶと&鯉のぼり作り	15名
6月13日(木)	楽器作り	19名
7月11日(木)	作った楽器で演奏会	18名
8月8日(木)	うちわ作り	16名
9月12日(木)	魚釣りゲーム	14名
10月10日(木)	コロコロ卓球	16名
11月14日(木)	ホットケーキ作り	17名
12月12日(木)	松ぼっくりでXmasツリー	19名
令和7年1月9日(木)	安堵かるた&福笑い	21名
2月13日(木)	小物入れ作り	17名
3月13日(木)	1年間の振り返り	18名

・チームオレンジ安堵

2カ月に1回会議を行い、オレンジかふえの内容や認知症啓発について話し合いました。それ以外にも必要に応じてオレンジかふえの準備のために集まりました。

開催日	内容	参加者
4月25日(木)	5月かふえ鯉のぼり準備	9名
5月16日(木)	オレンジ会議	8名
5月28日(火)	6月かふえ楽器作り準備	6名
7月18日(木)	オレンジ会議	12名
8月1日(木)	8月かふえうちわ作り準備	13名
9月2日(月)	認知症啓発月間準備	6名
9月19日(木)	オレンジ会議	10名
11月21日(木)	オレンジ会議	10名
12月4日(水)	VR認知症体験研修	9名
12月5日(木)	12月かふえXmasツリー作り準備	5名
12月19日(木)	1月かふえ福笑い作成準備	7名
令和7年1月24日(金)	オレンジ会議	8名
1月27日(月)	2月かふえ小物入れ作成準備	8名
2月20日(木)	3月かふえ、認知症講演会打合せ	8名
3月27日(木)	オレンジ会議	10名

- ⑥ 本人家族の相談会 1回 4月4日(木)
認知症が疑われる家族からの相談を受けました。

- ⑦ 本人家族の一体的支援プログラム 5回
認知症を持つ本人と、その家族を一体的に支援することで良好な家族関係を再構築することを目的とした一体的支援プログラムを実施しました。「本人・家族がしたいこと」を主として内容を考え、本人と家族が共に活動する場として『あんど会』を開催しました。

開催日	内容	参加者
令和6年7月4日(木)	矢田寺あじさい見学	4名
10月15日(火)	茶話会	6名
11月5日(火)	馬見丘陵公園散策	4名
令和7年2月25日(火)	お菓子作りベビーカステラ	3名
3月25日(火)	たこ焼き作り 振り返り	5名

2. 介護予防事業

「高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業」

健康寿命の延伸に向けて医療保険と介護保険における予防と健康づくりを一体的に実施するもので、有病率の高い高齢者の早期発見、対応とともに重症化の予防、フレイル予防や介護予防、生活習慣予防について、健康福祉推進室と地域包括支援センターとで連携しながら取組みました。健康状態不明瞭者を抽出(37名)し、対象者には、健康チェ

ックの質問表とお元気ですかアンケートを送付しました。その中で返信の無い方や、ポピュレーションアプローチが必要な方へは個別訪問し、健診や受診勧奨、介護予防やフレイル予防の啓発を行いました。

個別訪問数	22名
モニタリング継続者	4名

「通いの場へのアウトリーチ支援」

各地域のいきいき百歳体操の場において、専門職による体力測定と講話を実施し、介護予防の啓発をおこないました。

実施箇所数	14ヶ所
参加人数	156名

「いきいき百歳体操」(地域介護予防活動支援事業)

自分の身体は自分で守るために、筋力アップ、柔軟、バランス感覚が鍛えることのできる、おもりを使った“いきいき百歳体操”を週に1回、地域住民さん自ら、集会所等で行う活動を支援しました。介護予防と同時に、地域の通いの場づくりへと繋がりました。

実施箇所数	15ヶ所	
参加人数	187名	
実施回数	約 628回	
実施場所	かしの木台	毎週金曜日
	小泉苑	毎週水曜日
	柿の里	毎週金曜日
	四弁花(東安堵あくなみ)	毎週月曜日・木曜日
	笠目	毎週水曜日
	福祉保健センター	毎週金曜日
	若草の里	毎週土曜日
	上窪田	毎週木曜日
	あつみ台	毎週水曜日
	岡崎	毎週火曜日
	カルチャーセンター	毎週水曜日
	中窪田	毎週月曜日
	デイサービスひなたの家	毎週水曜日
	西安堵	毎週火曜日
	あくなみ苑	毎週日曜日

かみかみ体操実施場所：かしの木台・小泉苑・柿の里・東安堵南(四弁花)・あつみ台・中窪田

「リハ職派遣事業」(地域リハビリテーション活動支援事業)

身体機能低下により日常生活動作が困難になった方を対象に、3か月間集中的に、専門職(作業療法士)より自宅での生活動作についての指導や、栄養、口腔などを含めた継続的な自主予防について学びながら、もとの生活を取り戻すことを目指す取り組みをしました。

実人数(R6.4～R7.3)	6人
延実施回数	72回

「介護予防教室 人生こっからくらぶ」

後期高齢者健康診査で気になるフレイルの方を対象に、からだ・こころ・脳のリフレッシュと、健康習慣を身に着け、健康寿命の延伸を目指す教室を開催しました。

実施回数	(前期:R6.5～R6.7)	5回
	(後期:R6.11～R7.3)	20回
実人数	(前半)	8名
	(後半)	参加登録者 33名

「健康サポーターブラッシュアップ講座」

住民の自主的な健康づくり推進のため、各地域の健康サポーターに対して、自身の健康について知識を深めるとともに、地域への波及をしていただくことを目的に、専門職より講座開催しました。

開催日	内容	参加者
令和6年11月14日	リズムウォークと脳活性化エクササイズ 誤嚥にナラン！体操	21名

3. 生活支援体制整備事業

「生活支援サポータースキルアップ講習会開催」

困った時はお互い様を合い言葉に、生活のちょっとした困りごとをワンコインで援助することで、公的なサービスでは対応できない部分の支え合いのワンコイン生活支援サポーターのスキルアップを目指す救急講習会

参加人数	3名
登録者	1名
日時	内容
7月4日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な応急手当、AEDについて ・通報に悩んだ場合の判断について ・通報時シュミレーション

7月11日(木)	ボランティア活動をしてつながろう ～ゲートキーパーの視点をもった コミュニケーションのポイント～
11月15日(金)	安堵カンファレンスケアマネージャ ーとの交流会

「地域で支えるボランティアの活動」

・よりそい隊

令和6年度は「ボランティアきっかけ講座」を開催し、新規で1名の方にボランティア加入いただきました。

会議	12回
ボランティア加入者	5名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物支援(1回) ・子ども食堂イベント支援(9回) ・こっからくらぶミュージックケア(4回) ・発達障害の方の余暇支援のかかわり方を検討する ・大和園平和へ施設見学

・支え愛サポーター

生活のちょっとした困りごとをワンコインで支える生活支援サポーター養成講座を受講され、令和元年12月より「支え愛サポーター」として活動をスタートしました。

利用会員や活動についても、定期的に利用される方や新規での利用希望の方も増加しています。

令和6年11月15日の安堵カンファレンスに参加し、各介護サービス事業所職員の役割や、ワンコインサポーターの支援の内容について情報共有することができました。

会議	12回		
ボランティア加入者	サポーター12名 利用会員55名		
活動実績	活動件数	117件	
	内 訳	掃除	79件
		買い物代行	6件
		植木の処分	1件
		草引き	18件
		ソファの移動	1件
		病院の付き添い	4件
		雨樋のつまり	1件
		ベッドの解体	1件

	網戸の張替え	1件
	その他	5件

4. 社会参加援助サービス事業

一人でも多くの方に参加いただき、聴覚障害者への理解と知識を学ぶことで交流を深め、障害を持った方への暮らしやすいまちづくりを推進のために、手話奉仕員養成講座を開催しました。

手話奉仕員養成講座(入門課程)	全20回
受講者数	9名